

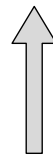
資源生産性指標を向上させるには？

$$\frac{DMI}{GDP} = \sum_k \sum_i \frac{DMI_k}{DMI_k + R_k} \cdot \frac{DMI_{k,i} + R_{k,i}}{F_i} \cdot \frac{F_i}{F} \cdot \frac{F}{GDP}$$

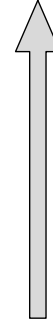
資源消費に占める再生
資源の割合を増やす
(リサイクル促進)



個々の財の生産に直接・間接
に必要な資源の量を減らす
(生産技術革新)



消費・投資構造の転換
(資源集約度の低い需要
への転換)



DMI: 一次資源投入量

R: 再生資源投入量

その他わが国で留意すべき課題の例

- 「廃棄」という行為が行なわれた結果生じる廃棄物だけでなく、積極的な廃棄はなされないが、実質上廃棄物化するもの(老朽化したインフラ等)
- 今後、建築物が寿命を迎え、建設解体廃棄物が増大すると考えられるのに対し、建設リサイクルの主な用途である土木事業は減少傾向にあり、再生資源の需給バランスが崩れる恐れ
- 非日常的だが重要な廃棄物問題(例:地震をはじめとする大規模災害に伴う廃棄物)への対応
- 通常の廃棄物行政の範疇外の廃棄物問題(使用済み核燃料等の放射性廃棄物、原子炉解体、兵器)

廃棄物・循環型社会：主要な課題

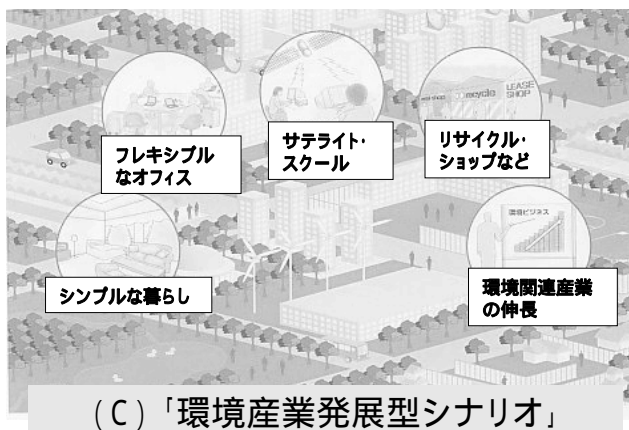
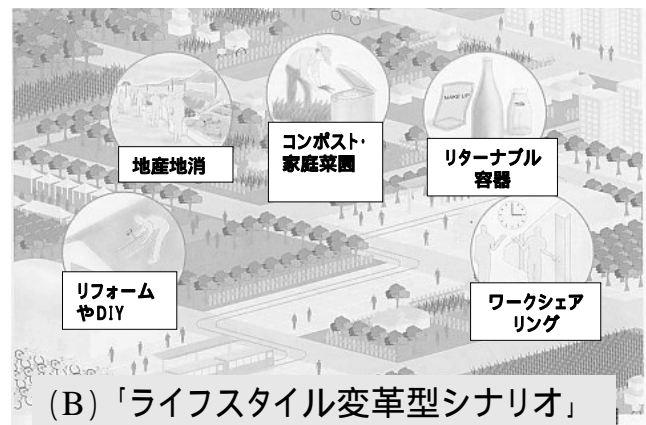
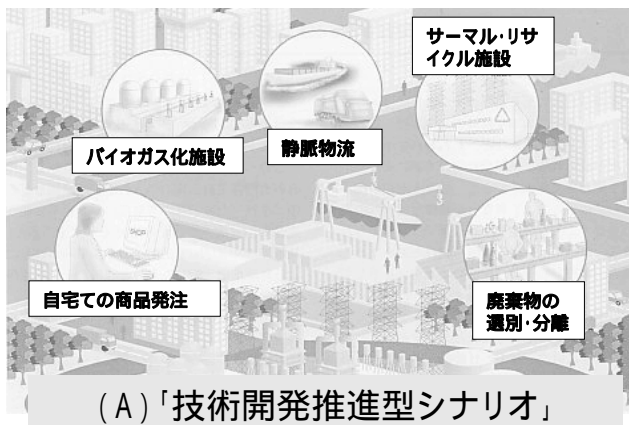
廃棄される物品からみた論点

- 廃棄物処理処分過程での環境汚染
- それ自身が有害で管理を要する廃棄物
- 廃棄物の量的増大と処理処分施設の立地難とのバランス
- 資源消費のバロメータとしての廃棄物
 - 循環的利用や廃棄物発生抑制による天然資源の消費削減
- 廃棄物からの有用な資源の回収と残渣の適正処理
- 材料・製品のライフサイクル管理、持続可能な物質管理

循環型社会

- 3Rの実践
- クローズドループ、地産地消(循環の望ましい地理的スケールは?)
- 自然界の物質循環とのかかわり: Renewableな資源へのシフト
- 循環型「社会」を名乗るがゆえの将来ビジョンへの期待 持続可能な社会
- 資源利用の公平性(世代内、世代間)

循環型社会の3つのシナリオ(平成14年度循環型社会白書より)



(A)極めて高度な工業化社会で、積極的にリサイクルを進める

(B)生活のペースをスローダウンし、自ら修理を行ったり地域活動にいそしむ

(C)リースやレンタルなどのサービス産業やIT化の進展により、ものから機能へと脱物質化が進む